

## 活動報告書

番号

17

### 【団体の概要】

事業名： 大月の製炭学習と里山への植栽活動

団体名： 大月町備長炭生産組合

### 【活動の概要】

山の資源に対する感謝の念を植栽という形で示し、関係する方々や地元住民、学生らにもこの取り組みに参加していただくことで、地域内外の交流促進や、持続可能な資源や産業を目指すことの意識を高めていただく。

国有林にウバメガシの苗木200本の植栽や、製炭体験、ウォーキングやドングリの収穫体験、拾ったドングリで苗づくりを行った。今回植栽した苗木は今後国と組合で管理してその成長を見守り、作ったどんぐりの苗は3~4年かけ畠で育て山にかえすようにしていきたい。

近年苗木づくりに対しては、県が研究課題(森林技術センター)として、町は町の事業として、町有林に再造林計画を立てる等、組合が長年積み重ねてきた活動に関係機関の動きが加わってきた。

また、毎年環境省の職員から参加者に山やウバメガシのお話をいただいている。特に参加者に高校生が多いことから、学校では教えていただけない内容でとても貴重な場になっているのではないかと思う。

### 【プログラム】

実施年月日： 令和3年11月13日(土)

場所： 大月町内の山林と炭窯

日程：

9:00～ 開会

9:30～ 山林へ移動(バス)

10:00～ ウォーキング(どんぐり拾いを兼ねる)

10:30～ 植栽

12:30～ 炭窯へ移動(バス)

13:00～ 昼食

14:00～ 備長炭づくり体験

14:30～ 苗木づくり

16:00～ 閉会、解散

募集地区： 高知県内

募集対象： 県内の小中高生、県民

募集方法： 町内各戸へのチラシの配布等

参加費等： 小学生500円、中学生以上1,000円

参加人数： 大人 21名

子供 名

スタッフ 23名

外部講師 名

### ○マスコミ等での紹介例(あれば)

#### ○感想

#### <参加者>

BBQが楽しみで参加しましたが、山を大事にして将来に繋げる取り組みに参加できて良かったです。

#### <スタッフ>

国・県・町と組合の連携による事業が将来の山づくりのみならず、高校生の教育の場となっていることが大変意義のあるものだと思います。